

産学官連携への挑戦 2014

徳島大学産学官連携推進部の活動について

皆様におかれましては、日頃から徳島大学をご支援いただき、まことにありがとうございます。本推進部の昨年度からの活動目標は、「もうかる産学官連携活動」です。昨年10月からは四国5大学の共同プロジェクトである「四国産学官連携イノベーション共同推進機構(SICO)」が立ち上がり、四国の全体を見て、産学官連携活動を行っています。しかしながら、成果は直ぐには現れないとは思いますが、今のところ成果は乏しく、現在の状況では、「もうかる」ことは不可能です。その理由は幾つかあると思いますが、大学の特許は製品化するには系統だっておらず、企業にとっては使用しにくいものであるのも一つだと思います。一方、企業は総ての技術などを自社で開発するのは困難な時代になっており、オープンイノベーションを考えています。従って、大学の産学官連携活動としては、大学において大学の開発力を生かしてオープンイノベーションの中心になることが必要です。さらにそれに基づく産業の育成が重要です。

それをどのように実現するか？個人的に興味のある課題について、少し紹介します。一つは、「木質バイオマス発電装置」の開発です。基本的には火力発電ですが、技術的に新しいものを導入することにより、新規な装置が開発できる可能性があります。徳島大学の年間の電気使用量は約5千万kWh、電気代は約7億円です。現在の電気は化石燃料から産生されており、電気料金の多くは海外に支払われています。もしこの7億円が徳島県において循環すれば、雇用対策にもなりますし、将来やってくる石油枯渇の危機に対する対策にもなります。オーストリアにおいては、すでにこのような取り組みが実現されており、成功しています。徳島大学においても、将来のエネルギー事情を考え、今から対策を練っても決して早くはないと思っています。この「木質バイオマス発電装置」をオープンイノベーションのテーマとして、様々な企業と連携して開発することが必要です。開発の資金はクラウドファンディングなどにより調達したいと考えています。ご興味のある方はご連絡ください。

もう一つは、自動操縦ヘリコプターの開発です。徳島大学の工学部にはラジコンヘリコプターやロボットに関する研究者がおり、共同研究によりより進化したヘリコプターを開発することが可能だと思われます。アマゾン社は、自動操縦ヘリコプターを利用して、本の無人配達を計画しています。現在は、カメラを搭載してその映像を送ってくる機能などが実用化されていますが、他にも多くの用途があると考えられます。

さらに、植物などからの薬用成分の単離、キノコの子実体の形成メカニズム解明による松茸の人工栽培、レンコンの自動栽培などバイオ系のおもしろい課題もあります。昨年度も引用しましたが、「創業の準備活動を行う又は事業開始後(若しくは設立後)間もない大学発ベンチャーに対し、当該大学の研究成果に係る事業を行う場合、当該大学施設の使用を許可する」ことが、平成14年6月に可能となっています。今後も徳島大学の知的財産を有効に活用し、社会の発展にさらに貢献したいと考えています。ご協力をよろしくお願い致します。



産学官連携推進部長

野地 澄晴
副学長
研究担当理事

産学官連携推進部の運営体制

産学官連携推進部は、民間企業等との研究協力の推進や、地域社会における技術開発及び技術教育の振興、徳島大学における教育研究活動の活性化を図ることを目的とし、活動しています。産学官連携推進部には、研究推進部門、イノベーション人材育成部門、安全環境管理部門の3部門が設置されており、徳島大学の産学官連携の総合窓口を担っています。



研究推進部門

学内外からの産学官連携に関わる相談を受け付ける窓口であり、研究推進事業（共同研究・受託研究の推進）及び知的財産取得・管理事業（特許相談・特許出願）、産学官連携（技術移転）を行っています。最近の徳島大学の実績は以下の通りです。

■研究推進事業（共同研究・受託研究の推進）

産学官連携アソシエイトが学内外を丁寧に個別訪問し、ニーズ・シーズを詳細に、幅広く発掘・収集し、共同研究や受託研究の推進にあたっています。マン・ツー・マンの個別対応により、大学内や産業界の活きた情報がリアルタイムに産学官連携推進部に集約され、質の高い産学連携のマッチングを実現しています。

■共同研究(受入金額・実施件数)年度推移



■受託研究(受入金額・実施件数)年度推移



■知的財産取得・管理事業（特許相談・特許出願）

産学官連携推進部では、特許につながる学内シーズを積極的に発掘し、平成25年度も多くの特許を出願いたしました。今後は、特許の活用率をアップさせるため、技術移転活動及びシーズ育成にも注力していきたいと思っております。

■特許相談・特許出願件数 年度推移



■産学官連携事業（技術移転）

株式会社テクノネットワーク四国（以下、四国TLOという。）と連携し、大学内で生まれた研究成果を企業へ移転する活動を行っています。

展示会や研究発表会の開催、企業への紹介活動などを通して、企業と研究者との連携を推進しています。

■技術移転の累計



安全保障輸出管理部門

安全環境管理部門では、徳島大学における外国への物品の輸出及び技術の提供あるいは留学生の受け入れ等に関して安全保障輸出管理の立場から、ご相談や届け出を受け付けたり、教職員の皆様へのヒアリングや該非判定等の調査等を行っています。また、安全保障輸出管理業務に従事する実務担当者及び徳島大学に新しく着任された教職員の方々に、徳島大学の輸出管理の手続きを知って頂く機会として、年に数回、「大学における安全保障輸出管理」をテーマとした説明会を開催しています。

平成25年9月10日には、四国地区の5国立大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）の連携により「四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク」が発足しました。それぞれの大学において、実施している安全保障輸出管理の業務について問題点を共有したり、先進的な取り組みについて学習するなど、5大学が協力して、大学における輸出管理の仕組みを構築することを目的として活動しております。

引き続き、本年度においても勉強会や説明会を開催する予定ですので、皆様の多くのご参加をお待ちしております。

■ お問い合わせ先

<安全保障輸出管理部門>

TEL:088-656-9773 FAX:088-656-7274

E-mail: iag-safety@tokushima-u.ac.jp



▲第1回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク基調講演会
(平成25年9月10日)



▲安全保障輸出管理説明会
(平成25年11月6日)

イノベーション人材育成部門

ものづくり分野における技術者・管理者等の人材育成について大学教員・企業技術者やそのOB、広域連携による他大学の専門講師の協力を得て社会や顧客ニーズに素早く対応でき、かつコスト削減や課題解決能力を養い企業のエースとなるべき人材の育成を目指すべく、講座を開設しています。

10年目を迎える平成26年度は企業からの要望が多かったマーケティング講座を新設し、顧客視点で経営を行うためにはどうするか、マーケティングの考えをベースにした事例を取り上げ、理解を深めていきたいと思えます。

また、昨年度から開設した専門講座の食品製造関連技術講座は食品加工講座として、3D・CAD講座は3DCAD・プリンター講座としてブラッシュアップいたしました。例年通り、生産管理講座、経営管理講座も開設しておりますので、受講ご希望の方は下記までお問い合わせください。

プログラムⅠ	専門技術講座（3DCAD・プリンター講座）	7/9～9/3	全8コマ
	専門技術講座（食品加工講座）	10/15～12/17	全10コマ
プログラムⅡ	マーケティング講座	8/7～10/7	全6コマ
プログラムⅢ	生産管理講座	9/11～10/16	全6コマ
プログラムⅣ	経営管理講座	10/23～11/27	全1コマ
プログラムⅤ	インターンシップ（講演付工場見学会）	1/16～2/20	全4コマ



■ お問い合わせ先

<イノベーション人材育成部門>

TEL:088-656-9884 FAX:088-656-9313

E-mail: iag-jinzai@tokushima-u.ac.jp

四国産学官連携イノベーション共同推進機構の紹介

「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）」は、四国の国立5大学（徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学）の連携により、平成25年10月に発足しました。

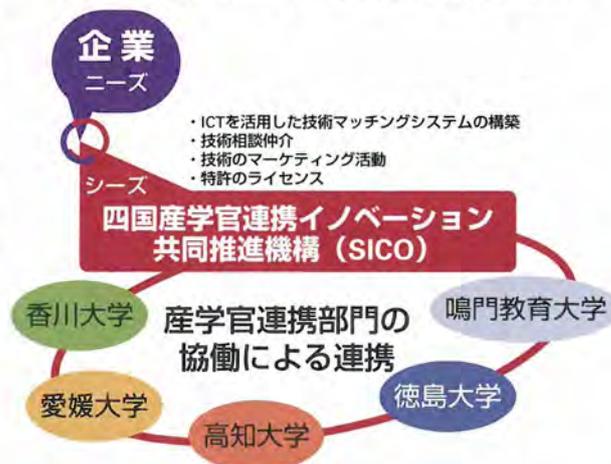
当機構は、5大学すべての知的財産、技術及び大学研究者情報を集積し、企業と大学の仲介役として、新たな技術や研究成果を必要とする企業とそれを持つ大学とを繋ぎ、新たな事業の創出を行っております。

各大学の産学官連携部門の共通業務を統合・一元化し、5大学が連携することにより、効率的に産学官連携活動を行うことが可能となり、各大学単体で実施するよりも、より多くのイノベーションの創出と新たな産業の発掘が期待できます。それは大学の研究活動及び地域社会の活性化に繋がると考えております。

また、これまで各大学の技術移転業務を行ってきた四国TLOについても、平成27年度に当機構の外部機関として統合することを計画しております。

このように四国地域の産学連携・技術移転に関わる機関が一体となり、四国地域の継続的な経済発展に貢献できるよう、事業を進めておりますので、今後の活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）」連携図



「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）」連携図（将来）



徳島大学に本部、各大学にはサテライトオフィスを設置
平成27年度に四国TLOを外部機関として統合予定

■ お問い合わせ先

＜四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）事務局＞
徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地（徳島大学産学官連携プラザ内）
TEL:088-656-9702 FAX:088-656-7274
E-mail: iag-office@tokushima-u.ac.jp
HP:<http://www.sico.jp/>
FB:<https://www.facebook.com/ShikokuInnovation>

- メールニュース配信のお知らせ
産学官連携推進部ではメールにてイベント等の情報を発信しております。
メール配信をご希望の方は E-mail iag-office@tokushima-u.ac.jp までご連絡ください。
- Facebook を開設しました！
産学官連携推進部の Facebook に、是非「いいね！」をお願いします。
<https://www.facebook.com/tokudaisuishinbu>

編集・発行
お問い合わせ
連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学 産学官連携推進部 部長 野地 澄晴

電話:088(656)7592(総合窓口) FAX:088(656)7593
E-mail: iag-office@tokushima-u.ac.jp URL: <http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/>